

みうらトーク&トーク 第7弾

日 時 平成18年11月7日（火） 19時15分から20時20分

参 加 者 三浦商工会議所青年部12名 市側 7名

テ ー マ 三崎下町振興について

団 体 三浦商工会議所青年部

団体の紹介 地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い次代への指導者としての責任を自覚し、地域の経済発展の支えとなり新しい文化的創造をもって豊かで住み良いまちづくりに貢献している。



内 容

（1）意見交換

（市 長） 今回のテーマは、三崎下町振興ということです。

今年度、市では下町・城ヶ島地区再生プロジェクト事業として掲げている。

現状としては、まだ下地の段階であり経済振興部で分析中です。今後、下町再生委員会を立ち上げる予定でいます。

下町再生は、三浦にとって重要な命題でありますので、みなさんからさまざまな意見を聞きながら、今後の参考にしたいのでよろしくお願いします。

（青年部） よろしくお願いします。

（市 長） 先ほどのプロジェクトですが、今後の進め方としてある程度、市でプランを作ってからと最初から地元のみなさんに意見を聞きながらおこなっていく方法があります。

駐車場や三崎下町商店街の人の流れなどがあるが一定の成果が出るようなものにしたい。

現在、下町のうらりは一定の集客力があると思いますので、人の流れをうまく作ってい

きたいと考えています。城ヶ島については、駐車場整備を県と調整しています。

(青年部) 少しずれるが、いつまで回遊という言葉にしがみついているのか。

今、三浦に来ている人たちは、一カ所を狙って来ていると思います。

観光にいつまでもぶらさがっているのか疑問です。

下町の最大の効果は、空店舗の対策だと思います。下町に住んでもらわないと活気は生まれない。シャッターが閉っていると活気もないと思います。

現在、映画舎と元気屋で店舗を検討しています。

回遊させるということは、ポイントが何カ所もないといけないと思います。

三崎高校跡地の構想ではないが、ちりばめることも必要だと思います。

(青年部) にぎわっているのは、商店街の両端です。

お店が開いているだけで、商店街のイメージが大分違うと思います。

公園から日の出まで、散策路みたいにしてもよいと思います。

現在、座れるベンチもないので天気良ければ外で食べることも出来ます。

どこかの町で看板を昭和初期風に書きかえただけで人が増えた事例を聞いたことがあります。

六本木などの都会の建物より、古き良き人情味ある建物の方が良いと思います。

人を呼んで滞留させるプランもあると思うので、それにより渋滞も少しおさまるのではないかと思います。

よそから三浦へベッタウンで来た人も下町へ呼ばないといけない。住んでいる人が下町へ来なくなっているのも問題だと思います。

(青年部) もともと日の出の商店街は、生活密着のものだった。それを観光と結びつけるのは難しいと思います。たとえば観光メインの商店街、生活密着型の商店街、どこかで住み分けをしないといけないと思います。

駐車場の話をすると店舗がない市場の周辺やうらりの裏の駐車場のことですが、そこに車を止めて日の出の商店街まで、はたして足をのばすか。

(市長) たしかに大型駐車場は、そちらに集中しています。

(青年部) 学校のグラウンドを駐車場として開放しているが、土日すべては、開放していない。

(市長) イベントの時だけ開放しています。

(青年部) 日の出の商店街の活性化を考えるならグラウンドを駐車場として月2回くらい無料開放するという方法もあると思います。

そのほかには、日の出の通りの駐車場は、いろいろな人が駐車している。

この駐車場に対しても何か対応したほうが良いと思います。

(市長) 日の出の駐車場は、通常の駐車場にするには幅がありません。何十年も放置されているのは、今までの三崎の土地柄が放置してたものだと思います。

日の出や花暮れの駐車場は、観光に来た人たちが車を置けるようにすべきだということで研究してもらっている。東部漁港事務所の管轄なので、今後調整していきます。

(青年部) 日の出の駐車場は、駐車している車のはみ出ていたり、バスが2台すれ違うと幅がなかったりして、かなり怖い思いをしたことがありますので、それも含めて対策をお願いします。

(市職員) さきほども市長がいったように縦駐車するには、幅がなく交通安全上は危険です。横付けにして駐車すると台数があまり止められなくなってしまいます。

花暮の駐車場には柵があり、海側は東部漁港が管理しています。道路側は、たしかに駐車している車があります。ただ道路交通法の改正で駐車取締りの制度が変わり、最近は、少なくなったように感じています。何年も前に花暮は有料化の話があったが、反対があり実現できなかった経過があります。今後、有料化の余地があると考えています。

(市長) さきほど話にでた空き店舗対策は重要だと思います。人が素通りする大きな要因になるので何とかしないといけないと考えています。

下町に定住人口を増やすことは、現実にそぐわないと思っています。下町の生き残る道は、商売が成り立つ観光だと思います。定住人口を増やすための新しい住宅地開発は難しい状況ですし、既存の住宅に人が入ってくるのもなかなか難しいと思います。

(青年部) 前に **TMO** のワーキンググループに入って、いろいろおこなってきました。

たとえば、市役所で空き店舗の情報を集めて欲しい。持ち主がどなたであるか、貸せるか貸せないか、いくらなら貸せるか、貸せる業種は何か、営業時間はどこまで大丈夫などの調査をして欲しい。これも何かの形で表に出して欲しい。

三浦市の中で、どこに空き店舗があるという情報を発信すれば空店舗も減るし、定住人口もある程度増えると思います。

(市長) 実際に誰がもっていて、今後、どう考えているかの状況を把握することは必要だと思います。

最近の話ですが、高野湯さんが閉め下町に風呂がなくなったという声を聞きます。

住民生活からの観点、船員のためにも風呂は必要だと思いますし、観光の対策としても

スーパー銭湯的なものも必要だと思います。

空き店舗の実態は、今後のプロジェクトとして必要と考えています。

(市職員) 今、宅建協会との調整を図りながら「市内の物件の紹介」の考えで調整しています。店舗まで出来るのかも含めて検討していきます。

(青年部) 資料の中で「テーマやコンセプト」という言葉があります。空き店舗や商店街として策を確立しておかないといけない。誰が入ってきても良いでは困ります。

(市長) どんな業種でも良い訳ではなく、「三浦らしさ」を出せる商店街にしないといけないという考えを持っています。

(青年部) 以前おこなったワークショップなどの資料は、ありますか。

(市長) あります。

(青年部) その時にも、意見が出ているので参考にさせていただきたいと思います。

(市長) 三浦市全体の商店街が活性化できるようなものを考えています。

(青年部) 何をもって「三崎下町らしさ」とするのか。核がないと抽象的になってしまい、計画を実行に移すときには、良いものがつくれないと思います。

たとえば、京都は、街並み保存するのに、家を直すときにどう直すかを市で決めて景観の保存をしている。

基本線がないと何でも良いになりかねないと思います。

(青年部) その話は、今すべきではないと思います。空き店舗をどうするかで良いと思います。

(市長) 「三浦らしさ」が何かというところでは必要だと思います。

(青年部) 横須賀市は、景観条例があります。一定の区域ですが大規模リホームから戸建の塗り替えまで書類を出して協議をすることになっています。

下町の商店街もある程度の統一したものは、必要だと思います。

(青年部) たとえば、商店街に映画舎が来て、角を曲がったら、昔の映画の看板が並べてあったらどうか。その意味での統一性は考えたことがあるが、非常にお金がかかる話になってしまう。

(青年部) 資料の中で目的として掲げているので、市の構想を聴きたい。昭和や大正の街並みを大事にするか、木の電柱にして看板をかけるなどがあると思います。

(市 長) 昭和のまち、蔵のまちは、二番煎じだと思います。三崎で絶対に切り離せないのは、港だと思います。港がキーになると思います。

今までもっているものをどうやって活用するというのもひとつだと思います。

「三浦らしさ」を考える前段階として、実態を把握することが必要だと思います。

(青年部) 駐車場もそうだが、商店街の人も意識改革しないといけないと思います。

(市 長) 市が全てをコントロールする仕組みは、絶対無理です。

(青年部) 商店街の私達より上の世代をどう変えていくことだと思います。

(青年部) TMOでいろいろコンセンサス形成が話題になります。たとえば何かおこなう場合に20人いれば約半分の人たちが参加してくれません。なかなかまとまりがつかないのが現状です。

(青年部) 前に鉄火巻イベントを行なった。三崎らしくない唯一の成功例だと思います。

(青年部) 人に感想を聞いたが、初めて三崎が一つになったと言っていた。

(青年部) 私達の年代から変えていかなければならないと考えているが、なかなか厳しいのが現実です。

(市 長) 商店街が活性化に成功している事例で行政主導のものはありません。商店街の人たちが立ち上がって成功している。

(青年部) 誰かが、音頭をとらないといけないと思います。

(市 長) 本来、そういう姿が理想、導火線の役割が行政と思っています。

(青年部) 城ヶ島については、どう考えていますか。

(市 長) 人が来るために駐車場の整備をすることやハイキングコースの整備などがあります。観光客が来てもらえるような環境づくりが必要と考えています。

(市 長) 本日は、ご多忙中の中ありがとうございました。

本日、いただいた意見は、今後の検討課題として考えていきます。

(市担当) これでみうらトーク＆トークを終了します。